

# 小学校 2 年

## 「どうぶつカード」を作ろう

東大阪市立布施小学校

教科

国語

単元名

しらべたことを分かりやすく書く

### 本時のねらい

- ・「どうぶつカード」を作るために、調べたことを整理することができる

### 本時における 1 人 1 台端末の活用方法とそのねらい

- ・「どうぶつカード」の作成のために、インターネットで調べたい動物について深く調べる。
- ・Figjam を使うことで、情報を整理・分析する力を養う。

### 活用した ICT 機器・デジタル教材・コンテンツ等

- ・Google Classroom
- ・Figjam
- ・大型提示装置
- ・Google スライド

### 本時の展開

### 本時で育む主な情報活用能力

B-STEP 1, C-STEP 1  
K-STEP 1, L-STEP 1

該当番号の詳細内容は  
「大阪府情報活用能力  
ステップシート」から確認できます。



学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT 活用のポイント・工夫
導入 (5 分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Classroom で本時の活動のルーブリックを示す。</li> <li>・Classroom で本時の学習の進め方の確認をする。</li> </ul> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;">めあて 「どうぶつカード」をつくるために、調べたことを整理しよう。</div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学習の流れを確認することで、見通しを持つことができる。</li> <li>・自分のペースや習熟度で学習を進めることができる。</li> </ul>
展開 (30 分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水族館で観察した生き物の中から、自分が調べたいと思った生き物について、3 つの方法【実際に観察した様子】【図鑑】【インターネット検索】を用いて調べ学習をする。</li> <li>・調べたことを Figjam のカードに書き込む。</li> <li>・作成したカードで「仲間分け」や「写真の挿入」「矢印」を使って、わかりやすくまとめる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・前時でつまづきがあった児童へは、Classroom に提示している調べ学習のヒントを用いることでサポートすることができる。</li> <li>・見本として作成した【Figjam でまとめたもの】を大型提示装置に映しておくことで、まとめ方がわからない児童にイメージを持たせることができる。</li> <li>・Figjam の機能【ペン】【蛍光ペン】【カード】【画像の挿入】【テキスト】の操作を用いることで、児童が意欲的に活動に取り組むことができる。</li> </ul>
まとめ (10 分)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Figjam で情報を整理したシートをスクリーンショットして、Google スライドにはりつける。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・課題としてスライドに提出することで、児童は前時の情報整理の資料と見比べることができ、本時の活動の達成感を得ることができる。</li> </ul>

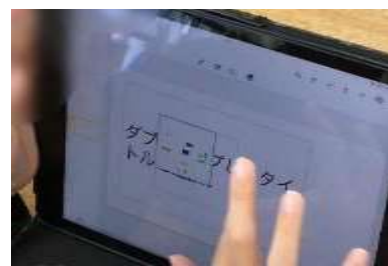
### 1 人 1 台端末を活用した活動の様子



【写真 1】Classroom を見ながら、学習の進め方を確認している場面



【写真 2】調べたことを Figjam のカードに書き込んでいる場面



【写真 3】Figjam で作成したものを Google スライドに貼り付ける場面

### 児童生徒の反応や変容

- ・Classroom で「前時のふりかえり」「本時の活動」「評価基準」を示すことで、1 人ひとりが主体的に取り組むことができた。
- ・集めた情報を Figjam で整理・分析する操作を通して、「見返したときに、すぐに見てわかるまとめ方はどんなまとめ方だろう？」と自ら考え、工夫してシートを完成させようとする児童の姿が見られた。まとめた情報をもとに、わかりやすい言葉に変換してカードにまとめなおしている児童もいた。

### 授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・Classroom に【S・A・B】に分けた評価基準を示すようにしてから、児童が評価基準を意識して主体的に取り組むことができていた。また、Classroom に学習の流れを提示することで本時の学習を進める上でのポイントも同時に伝えることができた。
- ・Figjam は 1 枚のシートを自由に編集できるため、基本的な操作を教えるだけで、児童が主体的に【整理・分析】に取り組むことができていた。